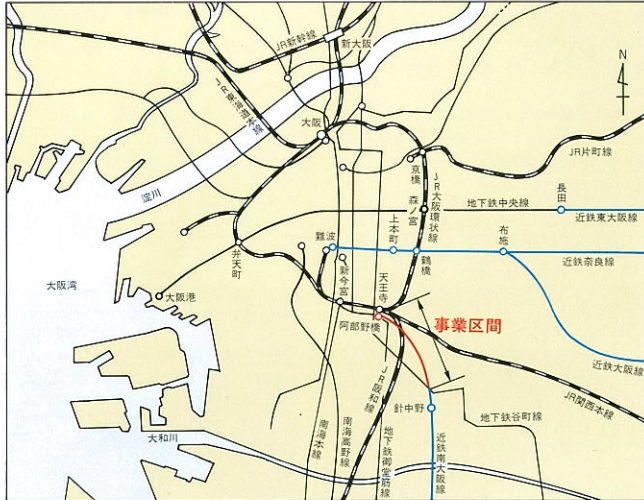


阿部野橋～針中野間高架切替

踏切が16か所なくなりました

位置図



- この事業は、建設省所管の都市計画事業で、「ガソリン税」「自動車重量税」等の道路特定財源と、大阪市、近鉄の負担によって行なわれています。

- 事業計画等についてのお問い合わせ先

大阪市土木局街路部立体交差課 ☎(06)208-9482
近畿日本鉄道株式会社 建設改良局阿部野工事事務所 ☎(06)629-7266



大阪都市計画
近鉄南大阪線連続立体交差事業

昭和62年12月

事業主体 大阪市
施工主体 近畿日本鉄道株式会社



大阪市長

大島 靖

大阪市では、21世紀に向けて世界に開かれた国際都市大阪を実現するため、各種の施策を進めています。

とりわけ、都市交通の円滑化と市街地の一体化をはかる鉄道の連続立体交差化（高架化又は地下化）は、魅力ある街づくりにかかせない重要な施策であります。

こういったことから、近鉄南大阪線の高架化につきましても本市の都市計画の中に組み入れて、大阪市が主体となって事業を進めたのでありまして、すでに昭和51年2月には針中野から大和川間の高架化が完了しております。

その後、引き続き阿部野橋から針中野間の工事を進めてまいりましたが、このほど、この間の高架構造物が完成し高架線開通の運びとなりました。

これもひとえに、国をはじめとする関係諸機関並びに地元の皆様、工事の施工主体となられた近畿日本鉄道株式会社の並々ならぬ御理解と御協力のたまものと厚く御礼申しあげさせていただきます。

これで、16の踏切がなくなり、踏切による交通事故や交通渋滞といった問題が一挙に解消されたこととなりますが、引き続き、踏切や線路の撤去工事、跡地や道路の整備工事等を進め、昭和64年度中には全ての事業を完了させる予定にいたしております。

この事業が完成したあかつきには、鉄道によって分断されていた地域が一つになり、新たなコミュニケーションが生まれます。

また、高架下の有効利用も可能となります。

このように多くの効果をもたらす近鉄南大阪線の連続立体交差事業は、必ずや今後の南大阪発展の礎になるものと確信する次第であります。

皆様には引き続きなお一層の御支援をお願い申し上げます。

ご あ い さ つ



近畿日本鉄道株式会社

社長 中村 成一郎

当社南大阪線は、大阪市の東南部を縦断しておりますが、沿線市域の発展により、近時道路交通が輻輳し、踏切における渋滞著しく、この抜本的解決のため、大阪市における都市計画の一環として立体交差事業がすすめられてまいりました。

すでに、昭和51年2月に針中野から大和川までの2.6キロメートルの高架化が実現しましたが、つづいて今回の阿部野橋から針中野間3.4キロメートルにつきましても、大阪市の御委託を受け、昭和58年6月から工事に着手いたしました。爾来4年半、工事区間の半ばに亘り、電車を運行しつつその直上に高架橋を築造する工法などを採用し、鋭意工をすすめるこのほど全区間高架新線を開通する運びとなりました。

これひとえに、国、大阪市など関係御当局の御援助、御指導と地元の皆様方の御理解、御協力の賜でありまして、衷心より厚く御礼申し上げます。

これにより、本工事区間の16か所の踏切が除去されるとともに、阿部野橋から大和川に至る約6キロメートルの大阪市内の線路すべてが高架線となったのでありまして、交通の安全と円滑化が画期的に向上いたしました。今後もひきつづきまして、旧線跡地や道路の整備とともに、今川駅上下通過線の新設をはじめ、各駅の改良をすすめる予定であります。更に本事業に併行して、目下当社が行っております阿部野橋ターミナル再開発事業が明年秋に完成いたしますと、連続立体交差事業による都市基盤整備と相俟って、南大阪の玄関口「阿倍野・天王寺」地区の新しい街づくりの核が実現することと存じます。

高架線開通に当り、関係各位に重ねて深甚の謝意を表しますとともに、地域の一層の御発展を心から祈念するものであります。公益事業として常に地域社会と歩みを共にしてまいりました当社は、沿線諸計画の進展にあわせ、今後一層運輸施設の改善、サービスの向上に努力を傾注する所存でございますので、何卒よろしく御支援を賜りますようお願い申し上げます。

